

## 主な名古屋空襲の内容

年月日	死者数	負傷者数	被害戸数	特徴
昭 17. 4. 18	8 人	31 人	—	名古屋空襲の開始日
昭 19. 12. 13	330 人	256 人	—	名古屋への本格的爆撃の開始日 B29 による初空襲
昭 20. 1. 3	70 人	346 人	3,588 戸	初の市街地目標爆撃
昭 20. 3. 19	826 人	2,728 人	39,893 戸	負傷者数、被害戸数最大
昭 20. 5. 14	276 人	783 人	21,905 戸	B29 来襲最大 (472 機) 名古屋城焼失
昭 20. 5. 17	505 人	1,300 人	23,695 戸	爆弾投下量最大 (3,609t)
昭 20. 6. 9	2,068 人	1,944 人	1,843 戸	死者数最大
昭 20. 7. 26	2 人	6 人	14 戸	名古屋空襲の最終日

※名古屋空襲は全 6 3 回 (名古屋市史第 6 巻参照)

## 他都市の「平和の日」制定状況

区分	都市名	平和の日	日にちの考え方	定め方
被害に着目したもの	東京都	(昭和 20 年) 3 月 10 日	東京大空襲の日 (死者数最大の日)	条例
	岡山市	(昭和 20 年) 6 月 29 日	岡山市への空襲の日 (空襲は 1 回のみ)	宣言(議決)
	青森県 青森市	(昭和 20 年) 7 月 28 日	青森市への空襲の日 (空襲は 1 回のみ)	条例
	新潟県 長岡市	(昭和 20 年) 8 月 1 日	長岡市への空襲の日 (2 回の空襲のうち死者が出た 1 回)	条例
	東京都 武蔵野市	(昭和 19 年) 11 月 24 日	武蔵野市への初空襲の日 (空襲は 9 回)	条例
	東京都 小金井市	(昭和 20 年) 3 月 10 日	東京大空襲の日	条例
	東京都 西東京市	(昭和 20 年) 4 月 12 日	西東京市への空襲の日 (空襲は 1 回のみ)	条例
	栃木県 宇都宮市	(昭和 20 年) 7 月 12 日	宇都宮市への空襲の日 (空襲は 1 回のみ)	告示
	岐阜県 各務原市	(昭和 20 年) 6 月 22 日	各務原市への空襲うち最大の被害 があった日 (空襲は十数回)	条例
	長崎県 長崎市	(昭和 20 年) 8 月 9 日	原爆投下の日	条例
平和のシンボルとなる日	東京都 国立市	(平成 12 年) 6 月 21 日	平和都市宣言の告示日	宣言
	神奈川県 秦野市	(昭和 20 年) 8 月 15 日	終戦の日	告示(議決)
	岐阜県 高山市	(昭和 56 年) 9 月 21 日	国際平和デー	告示 (議会同意)
	沖縄県	(昭和 20 年) 6 月 23 日	司令部自決の日 (組織的戦闘終結の日)	条例
	沖縄県 沖縄市	(昭和 20 年) 9 月 7 日	降伏文書署名の日	条例
沖縄県 北谷町	(昭和 21 年) 10 月 22 日	米軍から居住が許された日	条例	

## 名古屋市内の慰霊活動(平成29年度実績)

	主体	日付	場所
1	愛知県	8月15日	ウィルあいち
2	東邦学園	12月5日	東邦高校
3	愛知時計電機株式会社	6月9日	愛知時計電機株式会社本社
4	愛知県原水爆被災者の会	7月23日	日本ガイシフォーラム レセプションホール
5	戦争と平和の資料館 ピースあいち	3月下旬	戦争と平和の資料館 ピースあいち
6	緑区戦没者遺族連合会	4月15日	成海神社
7	天白区戦没者遺族会	5月18日	島田地蔵寺
8	熱田区戦没者遺族連合会	5月26日	愛知縣護国神社
9	西区城西学区遺族会	6月4日	明導寺
10	中村区遺族会	7月3日	愛知縣護国神社
11	千種区戦没者遺族連合会	7月16日	日泰寺
12	東区戦没者遺族会	8月15日	建中寺
13	南区戦没者遺族会	9月28日	富山縣護国神社
14	瑞穂区戦没者遺族会	11月3日	愛知縣護国神社
15	港区戦没者遺族会	11月10日	愛知縣護国神社
16	名東区戦没者遺族連合会	11月10日	愛知縣護国神社
17	名古屋市戦没者遺族連合会 (名古屋市戦没者追悼式)	11月20日	アートピアホール
18	中区戦没者遺族連合会	1月18日	愛知縣護国神社